

昭和25年11月30日

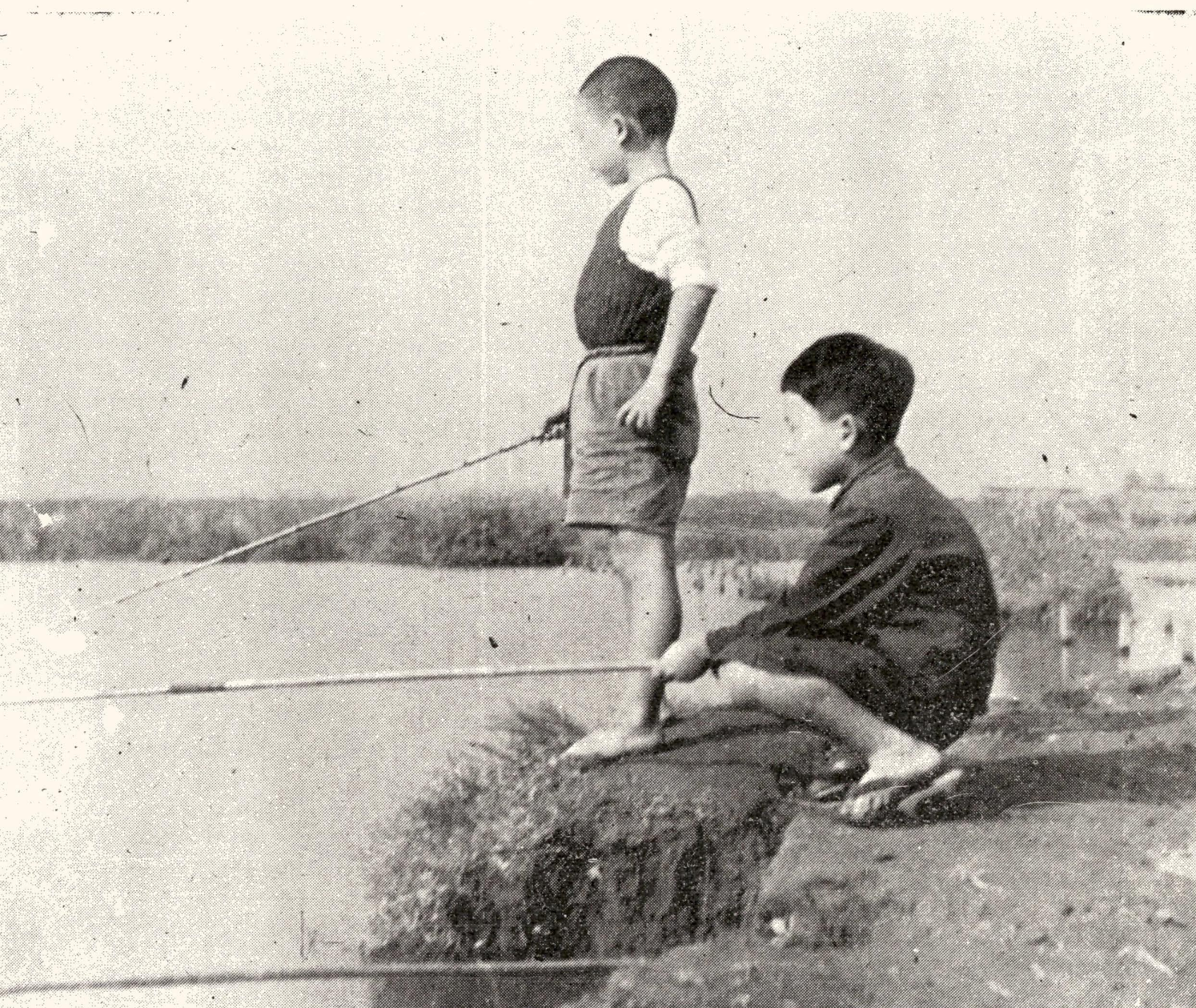


第38號

足立区政ニュース

THE ADACHI KUSEI NEWS

発行
足立区千住1の50
東京都足立区役所
北島十吉
編集
総務課文書係
浅草0440
電 足立 { 3111
 3115



晩秋の日が西に傾むいて江北橋から左
手の工場街が繪のように美しい、橋を
通る車馬のざわめきが、一つの塊りと
なつて静かな川岸の高い高い空の中に
昇華して行く、小春日和の一日、釣れ
る儘に歸りそびれた兒等の瞳に映る浮
木の波紋は、忍びよる冬の冷たさを感じ
させながら枯れ出した土堤の草々を
ゆらしている。

多角的な児童福祉を圖る 児童福祉研究会開催

11月22日午後1時から区會議事堂で児童の福祉に関する研究会が開催された。

これには去る10月1日区内各小中学校長の推薦により都から正式に依頼された各校児童福祉担当者と児童委員常務委員、区議會厚生委員長、教育委員長、婦人連合會長、千住西新井兩警察署長区側では区長、助役、民生、教育兩課長等76名が出席して児童福祉に対する活潑な意見が交換された。

會議は學校と児童福祉機關との連絡提携及びその具体的活動について焦点があつまり結論として児童福祉機關と各校児童福祉担当者との間の連絡を円滑にするため児童福祉連絡協議會を設けることとし各學校毎に別項の項目について研究し12月中旬再度この協議會を開催し具体的協議會の運用と児童福祉の方針を立てることが決定した。

調査項目

- 1、地区(各學校)における關係機關の連絡提携
- 2、児童遊園その他厚生施設について
- 3、児童の自治組織育成について
- 4、児童の生活指導(躾)について

珠算競技會

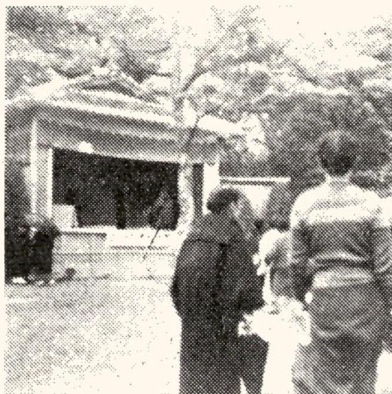
区役所主催の珠算競技大會が11月26日午前9時から千壽第1小學校で開かれた、競技は第1部(小學校児童)第2部(中學校生徒)第3部(一般)の3部に分れ団体と個人競技が行われ、第1部、第2部の団体は5名、3部は3名が入賞、第1位から第5位まで賞が贈られた。

牛の移動禁止

11月14日から一部解除

本年7月兵庫縣に發生した牛の流感がその後全国的に漫延する兆候があつたので9月以降牛の移動が禁止されていたが最近稍々その傳染が下火になり一部にあつては流感絶無の所もできたので11月14日以降牛の一部(北南、西多摩郡、足立、葛飾、江戸川、板橋練馬各区大島、三宅島)移動が許可された。

- 5、児童文化財について
- 6、長期欠席不就學児童の處遇について
- 7、問題児童の個別指導(ケースワーク)について



唐澤山ハイキング

11月18日足立区連合婦人協議會主催足立区役所後援の栃木縣阿蘇郡田沼町唐澤山ハイキングが行われた。この日住居の關係で区内の東武線最寄驛に集合した婦人會員のために東武鐵道では足立区内各驛に電車を停め大いに便をはかつてくれた。

天氣豫報は北の風曇一時小雨とあつて朝から、どんよりした空は参加者の氣付かわしげに見上げる顔に時々ポツと冷たいものを降らせたが竹の塚驛を發つ頃には薄日さえ洩れる日和となつた窓外の景色は晩秋のうらぶれた單調極まる黒い田と蒼い森の連続。時々無停車で突走る驛々の赤いセーターや馴染みのない驛名がわずかに旅を感じさせてくれる、館林驛に5分間停車、雨が細かい寒さを伴つて降っている、緑

ユニセフ衣料の配給

区ではユニセフ(國際連合國際兒童緊急基金)から贈られた衣料男兒服(上下)160人分女兒服(ワンピース)170人分肌着(メリヤス上下)330人分を11月24日各民生館所で困窮家庭の兒童330人に對して配給した。

成人學校の成果に満足

ギヤアーレツト女史來区

11月14日午後5時關東地方民事部社會教育擔當補佐官ギヤアーレツト女史及び都、山岸社會教育部長が、東京都足立区成人學校視察のために來区、区長、教育課長、社會教育係長と区長室において懇談の後、区立5中の成人學校を視察、同校で講師その他との茶話會に出席し統計資料や授業見學により区民の向學心に燃えている姿に満足し關係者の努力を賞讃した。

川社會教育係長がイノるが如くツブヤクがごとく雨脚を眺めて獨りごとをいつている、群馬縣田沼町着10時40分、雨は晴れたが濕つた空氣が唐澤山を白く曇らせている、山まで20分で行けるといふ案内人の言葉に今更見直す唐澤山は何の變哲もないそこの山とかわからない、「歡迎足立区の婦人會」と書いたアーチをくぐるとバス道路が頂上まで續いている、所々にこの樹から入るべからずという立札が立つ、松茸の名産地らしい匂いを漂わせている、頂上はなるほど婦人會区教育課で企畫調査しただけの眺望と設備が整つていた、數々の名所や傳説を神妙に見たりきいたりした會員、雨がまた降り出したため早目に歸途についた車中では、雨に追いかけられたようなハイキングの鬱憤をはらすばかりの哄笑、爆笑を湧かせ、やけに降り出した大粒の雨が、電車の窓や屋根に當る音をきき消すほどであつた。

東京都教育委員会委員選挙

極めて低調

投票率 0.153

11月10日の教育委員選挙は選挙管理委員會大堂の宣傳も大した効果を見せず、折柄襲つた寒波のために、区内各投票所はいずれも閑散として、午前

8時頃勤め人で一寸賑わつただけで、あとは投票所近邊の人々がちらりほらり投票にきた位であつた。



区議会日誌

- 1 1 月 4 日 土木建築合同委員会開會
足立区内用途地域について審議を行つた
- 1 1 月 9 日 財務委員会開會
下記案件について審議を行つた
 - 1、完納奨励費交付について
 - 2、昭和 25 年度特別区民税の一部納期限延長について
- 1 1 月 13 日 足立区議会災害対策特別委員会開會
特別委員長及び副委員長、各 1 名常任理事 5 名の決定をみた
- 1 1 月 16 日 教育委員会視察
区内数校から提出せられた各種教育関係の陳情請願に基づき内容調査のため教育課長及び係長を同伴し午前午後に渉り實地視察を行つた
- 1 1 月 21 日 厚生委員会開會
下記案件について審議を行つた
 - 1、所管事項報告について
 - 2、公益質屋設置について
 - 3、区營浴場について
 同日午後教育委員会開會
下記案件について審議を行つた
 - 1、6、3 制整備記念式について
 - 2、千壽第 7 小學校増築工事に件う寄附について
 - 3、昭和 25 年度区立學校増築工事請負契約報告について
 - 4、委員会學校視察箇所について
 - 5、千住圖書館敷地買収方請願書について

足立華道展

足立華道協會の協力を得て足立華道展が 11 月 17、18、19 の 3 日間、梅島小學校講堂で開催され、菊薫る季節に應わしい靜かな會場は、華道の眞隨を見た參觀者の嘆聲に明け暮れた。

育苗用温床々土消毒講習會

区内の夏そ菜類の病害による被害は近年非常に増加しつつあり、これ等の病害の中に育苗中の床土により傳染するものが多いのでこれの防除のため床土消毒講習會が足立区、足立農業協同組合、足立農業改良委員會の共催で 11 月 24 日から 11 月 30 日までの 5 日間開かれる。

盛況だつた住宅展示會

11 月 18 日から 20 日まで千壽第 3 小學校で開かれた足立区住宅展示會は建設省、東京都はじめ住宅金融公庫、日本建築士會、公私大學工學部、日本建築及び都内各一流メーカー會社から資料の提供を受けて全國初の試みとして好評を集め連日多數の參觀者で賑わつた、會場では特に第 1 部の平凡で身近かな住宅模型の展示に人氣があつまり區民の住宅に對する關心を偲べせた。なお出品會社名及び來場人員の内譯は次の通りである。

株式會社日興商會△日新工業株式會社
△淺野物産株式會社△第 1 化學工業株式會社△合資會社丸の内工業所△日本防火ペイント株式會社△長作蛇籠工場△旭ガラス△岩城ガラス△實生堂△田中工業△田島應用化學株式會社

入場人員

	日	18日	19日	20日	計
男	312	324	591	1,227	
女	189	189	198	576	
學生男	297	310	423	1,030	
〃 女	228	220	374	822	
團體	1,430	1,489	3,374	6,293	
計	2,456	2,532	4,960	9,948	

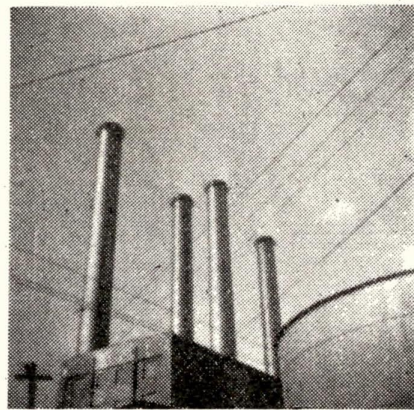


＝名所＝古蹟＝ 四本煙突

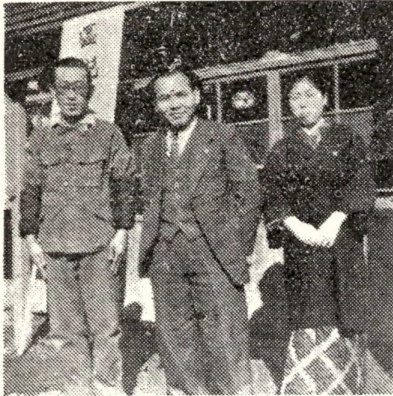
日本發送電千住發電所

見る場所によつて 1 本にも 2 本にも或いは 3 本にも見えるので通常「お化け煙突」と呼ばれ田端邊から上野淺草一帶の人々に親しまれている日本發送電千住發電所の四本煙突は足立区名所の一つである…發電所關係に勤續 30 年の豪放磊落な原所長が奇想天外なギャグを飛ばしながら説明する所によると藏前にあつた日本發送電の前身である東京電灯株式會社の煙突が關東大震災で倒れ大川を流れ流れて現在の場所に建つたのだそうである、勿論煙突が河を流れる筈はないが兎に角藏前の發電所が日本發送電と關東配電に分れてから千住櫻木町に建てられた譯なのである。着工が大正 15 年竣工昭和 2 年というから當時の工事としては相當大工事であつたに違いない、高さ 90 米でつべんの直徑が約 5 米底の直徑が約 7 米、これが四本菱形に建つている傍によると鐵の谷に入つたやうで押し潰されるやうな氣がしてくる。煙突には煉瓦、混凝土耐震の三つの建立法がありこの四本煙突は耐震構造になつているため塗り替へをせればならず最近も 180 万圓の豫算で塗装をしたばかりだそうだ、朝鮮事變以來電力の消費量が急激に上昇し東京を中心とする關東区域の需要量が 160 万 Kwhour、火力發電が（日發千住）フルに働いても 6.5

万 Kwhour. で今の所晝夜兼行四本煙突はもくもくと煙を吐いてもまだまだ足りないそうだ、1 万 Kw と言つてもピント來なければ 1 万 Kw が 1 万 3 千馬力、1 馬力が標準以上の



男子 10 人力として 13 万人、その 6.5 倍であるから 84 万 5 千人分だけの力がこの四本煙突の吐き出す煙によつて造られているのである。この 84 万人力の煙突の喰物たるや 1.5000 噸の石炭をペコリと平らげなお卓々の余裕を残しながら 6000 噸の灰を出していると言うのだから正に驚きの外はない。秋の夜空、銀粉を撒いたやうな星空に懸る名月がゆられゆられて碎け散る大川に、赤い標識灯を明滅させて影映す四本煙突は、彼と彼女が綺麗れえーと頬寄せてロマンチックな戀いに浸る一時も、産業復興の原動力たる黒煙をもくもくと棚引かせて晝も夜も区内に住む人に足立区の所在を遠くから明示させて立つているのである。



右から 中村清子、高橋 光
栗原吉之助

◁出張所めぐり▷ 第14出張所

東武線竹の塚驛から西北に3軒、小春日和田甫に牛がのどかに啼いている、柔い日ざしに照らし出された白壁の土蔵が、澄み切つた青空をすがすがしく区切つている農家の庭先に、吊された赤い柿が鮮かな印象で秋を匂わせているのが窓越しに眺められる14出張所の事務室で高橋所長の抱負や感想を聞いてみた。——ここは一口に出張所は斯くあるが故に斯くあるべきであるという一貫した出張所に対する理念を通すことはできない、例えば所長の所へ行けば何でも教えて呉れるそうだという素朴な人々の単純な推理は私をして時に戸迷いさぜるを得ないような相談を持ちかけてくる、もぐらが畑を荒してしょうがないんだがどうすればとれるか、鶏の毛が抜けてしょうがないがどうしたら良いかこういう間に對しても一應それ等の本を讀んでこうしなさいと答えればならぬ所にこの出張所運営のキーポイントがある、地元民の協力は農村獨特の家族的なものであつてその点は感謝とか有難いとか言う詞では言えないほどの親近感に満ちているとに角この出張所はここからみえるあの景色のようですよ——指さす野面の果に秩父連山が空色に連らなつて、小川の所在を示すような雑木の縦列が南から北へ單調な晩秋の景色をわずかに亂しているのを背景に農夫の振り上げる鍬の先がきらりと白く光つて足元の土が黒く掘り返えされる——所長は更に續けていう、いかに平凡にありたいと願つても、こののどかな自然に嵐や地震があるように人の世にも風波は絶えない、だから私は平凡にできるだけ平凡にこの出張所の事務

が處理されるよう努めているのです。中央大學に法律を學んだという所長の口吻には、成程六法全書の説明口調もあるが、花畑から舍人まで毎日2里の道を、路傍に移り變る四季の景色を眺めながら通勤すること2年、初老的詩味さえ加えて平凡であれかしと祈る所長の心理判らぬでもない、面積5平方軒足立区産米量の約4分の1を占める3,000石を産出する14出張所は東京都とは思えぬ程鄙びている場所にある「こんちいーわ」と獨特な埼玉訛りのある地元の方が2人、税金を納めにくる。管内に郵便局、銀行が全然ないため出張所で区民税を扱っているのだそうだ「まあお茶でも飲んでつたら…」「うんどうもしてられねえが」と言いながら事務所に上り込んでくる人々の表情は田舎の村役場を連想させる、足立区にも橋1つ越した北の方にはまだかくものどかな、ありふれたことを、ありふれた方法で、何の奇もなくやつている故に、ややこしい政治を必要としない出張所があるのである。

足立区繪畫展

11月16、17の兩日区議事堂で足立区繪畫展が区内學校及び一般からの出品約200点を集めて展かれた。入賞者は次の通り

区長賞 千壽第5小學校6年生野京子
議長賞 淵江小學校 6年生細井好江
新聞社賞 (都民新報社)

千壽第5小學校6年 泉 直成
柳原小學校5年 高橋節子
梅島小學校4年 高木龍助

成人學校閉校式

11月25日午後6時から東京足立成人學校の閉校式が行われた。同校は去る10月16日から開校され足立、墨田、葛飾、江戸川、江東各区から連日約200名の受講者を集めて繪畫、英語、洋裁、簿記、經濟、趣味の學科を講じ又時間外にはレクレーションとしてスクエアダンス等を實施し生活文化の向上に多大の貢獻をなした。

「新地方自治確立運動」の標語募集

民主國家確立の基盤をなすものは、地方自治であるといえよう。地方自治精神の昂揚、住民の權利と義務、議決機關と執行機關のあり方、地方財政の確立など“新しい地方自治のありかた”について都民の理解をはかるため「新地方自治確立運動」の一環として、次の通り標語を募集します。

1 内容

- a 新しい地方自治制度をわかり易く表すもの
- b 地方自治意識を昂揚するもの

2 締切 昭和25年12月10日
(同日消印のものまで有効)

3 賞金 1等 10,000円 1人
2等 5,000円 1人

- 3等 2,000円 1人
- 佳作 記念品 10人
- 4 審査 新地方自治確立運動標語審査會が決定
- 5 用紙 郵便ハガキ(1枚1句のこと)住所、氏名を明記
- 6 発表 昭和25年12月15日各新聞、東京都お知らせ、同家庭普及版、都民のメモ、市、区政ニュースほか
- 7 送り先 東京都千代田区丸の内3の1
東京都知事室広報部
標語募集係
- 8 その他 応募作品は一切お返しいたしません。
版權は本都に歸屬します。

未引揚者の留守家族 實態調査

区民生課では12月1日現在で区内における留守家族の實数を明確にすると同時にその生活實態を種々の角度から把握して將來の援護施策の基礎資料とするとともに、併せて未引揚邦人の殘留狀況をも調査して、未引揚邦人調査の有力な資料とする目的のために留守

家族の實態調査を行う。この調査に當る調査員として民生委員の正副常務委員が委嘱され先に實施した國勢調査の際の未引揚調査票及び区の手持既存資料を基礎として調査に萬全を期することになった。なおこの調査は調査対象世帯を戸別に訪問して、口述調査により調査員が調査票の記入をすることになつている。